

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM14Z005	コミュニケーション学 ( Communication Studies )	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1年	後期	水曜・2限	上野 徳美 内線： E-mail : ueno@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

コミュニケーション学の基礎的な知見や方法論について講義するとともに、医療・保健分野などにおける人間関係やコミュニケーションの実際問題について論考する。講義や討議、ロールプレイなどを通じて、患者・クライアントや医療スタッフとの相互理解と人間関係の構築・改善、さらにチーム医療などに有用なコミュニケーションスキルや視座を養う

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. コミュニケーションの概念や働きを理解できる		○				
2. コミュニケーションの過程や要因、効果、多様性などについて理解できる		○				
3. 円滑で有効なコミュニケーションのための知識とスキルを身につける	○	○				
4. 自他尊重と他職種連携のコミュニケーションスキルや方法論を身につける	○	○		○		

#### 【授業の内容】

1	授業ガイダンス、コミュニケーション学、コミュニケーションとは
2	人に心を開くコミュニケーションー自己開示と自己呈示ー
3	対人コミュニケーションと非言語行動の働きと役割1
4	対人コミュニケーションと非言語行動の働きと役割2
5	傾聴のためのコミュニケーション技法1
6	傾聴のためのコミュニケーション技法2
7	自他尊重のコミュニケーション1
8	自他尊重のコミュニケーション2
9	医療事故予防とコミュニケーション
10	人の心を動かすコミュニケーション (態度・行動の変容)
11	チーム医療とリーダーシップ、メンバーシップ
12	生活習慣病の予防・改善とヘルスコミュニケーション
13	患者理解と支援のためのコミュニケーション
14	医療者の燃え尽きの予防と対策
15	まとめと質疑応答

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A : 知識の定着・確認	○	小レポート、ミニッツペーパー	自他理解のための心理検査・尺度の活用、 コミュニケーション技法の理解を促す 動画の活用など
B : 意見の表現・交換	○	ミニッツペーパー、質疑応答	
C : 応用志向	○	ロールプレイ、集団討議	
D : 知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考書などをもとに予習する ( 8h )。
事後学修	配付資料や参考書をもとに復習する ( 8h )。

#### 【教科書】

特定の教科書は使用しない。授業中に配布する資料などを使用する。

#### 【参考書】

授業毎に参考書を数冊、紹介する。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
筆記試験	80%	○	○	○	○
レポート	10%	○	○		
ミニツツペーパー、授業への取り組み	10%	○	○		

上記の評価の割合は目安であり、総合的に評価する。

**【注意事項】** 進行状況により、授業内容や順番を一部変更する場合がある。

**【備考】**

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	大分県立高等学校のスクールカウンセラー、大分産業保健総合支援センターのメンタルヘルス相談員	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	クライアントや患者とのコミュニケーションのとり方、傾聴の技法、メンタルヘルス支援の方法などに関する講義や実習も行う。	
授業形態		